

健康薬学コース特論・演習 Integrated Health Sciences

薬：L1-20613MY

コース科目 6年／前期 1.5単位 選択必修科目

科目責任者 服部 研之(環境衛生学研究室)

■ 教育目的

5年時の事前学習、環境衛生・食品衛生関連の公的研究機関などにおいて行ったコース実習の経験および講義等を踏まえ、その衛生関連分野周辺における最新の知見、問題点等をパワーポイントで発表、討論を行うことにより、幅広い関連分野の情報を共有し、理解するとともに、問題解決能力を養う。また同時に研究報告におけるプレゼンテーション能力を教員の個別指導により養う。【卒業認定・学位授与の方針：YD-②、YD-④、YD-⑤、YD-⑥】

■ 学習到達目標

1. 衛生関連分野における最新の知見を理解、討論することができる。(知識・技能・態度)
2. 研究報告に関連するプレゼンテーション能力を身につける。(知識・技能)

■ 準備学習（予習・復習）

予習：実験課題関連分野の論文等を精読し、プレゼンテーションの順番までにまとめておくこと
(プレゼンテーションの準備に20時間以上)

復習：他の分野の課題のプレゼンテーションを理解すること。また、プレゼンテーションの際に質問されたことなどを補足する(プレゼンの補足に2時間程度)。

■ 授業形態

プレゼンテーション

■ 授業内容

No.	項目	授業内容	備考・SBOコード
1～10	学習・講義・演習	衛生関連分野における最新の知見、問題点等をパワーポイントで発表、討論を行う。	D1(3)-①②③ D2(1)-①②③
11	特別講義	多職種連携について	
12	特別講義	多職種連携について	
13	特別講義	処方解析について	
14	特別講義	処方解析について	
15	学習・講義・演習	衛生関連分野における最新の知見、問題点等をパワーポイントで発表、討論を行う。	D1(3)-①②③ D2(1)-①②③

■ 授業分担者

石井 里枝、兎川 忠靖、森田 雄二、鈴木 俊宏、服部 研之、大山 悦子、学外講師

■ 課題（レポート、試験等）のフィードバック及び成績評価方法

授業態度(50%)、テーマの発表と討論(50%)の総合評価を行う。